



特集

くわなのウェルビーイング「観光案内ボランティア」

街の魅力をつなぐ 桑名歴史案内人の会

普段見慣れた街並みも一歩踏み込めば歴史の舞台。そんな奥深い地域の魅力や教科書には載っていない秘話を、たくさんの人へ伝えることにやりがいを感じて活動しているのが「桑名歴史案内人の会」の皆さんです。

問 この記事については秘書広報課 (☎24-1492 FAX 24-1119)



右より／桑名歴史案内人の会

会長 伊藤 通敏さん

副会長 加藤 克巳さん

こんな活動も行っています！



「六華苑」では小学校高学年を対象に、手作りの紙芝居による歴史紹介を行っています。

内閣府から、高齢者が生きがいを持って社会参加し、健康で充実した生活を送る「エイジレス・ライフ」の模範として表彰されました。

問 桑名歴史案内人の会

☎・FAX 21-5416

申込方法 希望日の6カ月前から8日前までに、桑名市物産観光案内所で直接申し込むか、ホームページから申込用紙をダウンロード・プリントアウトして記入し、メール、ファクスまたは郵送でご予約ください。



時を超えて地域の物語を伝える
「桑名歴史案内人の会」とは
平成9年に発足以来、28年に渡り延べ170人以上の観光ボランティアガイドを輩出してきた「桑名歴史案内人の会」。現在は20代から87歳まで、幅広い世代の44人がガイドとして活躍しています。主な活動は市内の史跡案内で、「六華苑」にはガイドが常駐。8日前までに申し込めば、市内の希望場所を無料で案内してもらえます。近年は「桑名ほんばく」での史跡ウォーキングイベントの開催やオリジナルマップの制作、企業や自治体と連携をして地域の魅力を伝える機会を設けるなど、多彩な取り組みを展開しています。3年前からは小学生向けに、六華苑で紙芝居を使って歴史を伝える活動もスタート。会長の伊藤さんと副会長の加藤さんは「地域住民にも桑名の歴史を知ってもらい、地元愛を深めてほしい」と、取り組みへの思いを語ってくれました。案内人と共に知られる桑名の物語をたどり、街の魅力を再発見してみませんか。

広報 くわな KUWANA

目次 contents

02 キラリ★くわな人

03 特集 くわなのウェルビーイング「観光案内ボランティア」
街の魅力をつなぐ桑名歴史案内人の会

06 税の申告が始まります
ゼロカーボンシティ取り組みレポート

08 まちづくり協議会～みんなでつくる、わたしたちのまち～
こころとカラダを大切に 女性が自分らしく輝くまち
「林野火災注意報」「林野火災警報」の発令について

10 子育て広場、図書館・六華苑・博物館

12 メディカルニュース、くわな防災教室

13 人気の給食レシピ、みんなの掲示板

14 EVENT ALBUM(イベントアルバム)

16 くわなINFO

22 無料相談

23 多文化共生で活力を
市長まちなか探索

24 HAPPY BIRTHDAY
桑名のイトコ教えてください。

今月の表紙

六華苑や神社仏閣、東海道の散策など、桑名の歴史的な名所を無料で案内してくれる「桑名歴史案内人の会」の皆さんです。



調香家
香デザインプランナー
ゆき
日紫喜 友紀さん

調香家である桑名市出身の日紫喜さんは、名前の響きやリズムに基づいて香りを創り出す「なまえ香」を開発し、創作販売しています。大和言葉に基づいて独自の調査方法でその人だけの香りを仕立てる、完全手作りのオーダーメイド品で、個人の贈り物や企業のイベントに向けた特別なアイテムとして人気を集めています。なまえ香を創作したきっかけは、趣味の詩歌とこと。祖母の影響で幼少期から着物や川柳、お香など、和の文化に触れ、さらに音相理論やさまざまな出会いを通して言葉と香のつながりを感じたそうです。京都府文化ベンチャーコンペティションやおもてなしセレクシヨ

ン2016、京都女性起業家賞の知事賞優秀賞など、さまざまな賞を受賞しながら、なまえ香という独自のブランドを築き上げました。「香と言葉は一時的、表面的な癒しではなく、精神をも穏やかにする作用があります」と日紫喜さん。「殺伐とする現代、今後さらに経済と社会生活を含め変化がめまぐるしくなる中で、人間本来の心持ちを取り戻せる香というものを現代の習慣として日常に取り入れるときがきたと感じています。香と言葉を通じて、老若女性を中心に心の健康を支える活動にも力を入れたい」と話してくれました。また、歴史や伝統、ものづくりなど素晴らしいものがたくさんある桑名を香りで表現したいと話してくれました。



香房の様子

キラリ★くわな人

知っ得情報付き
桑名歴史案内人の会
おすすめSPOT

01 六華苑
(旧諸戸清六邸)



**大正時代の粋が集結
和洋が調和する名邸宅**

桑名の実業家・二代諸戸清六の邸宅として1913年に完成。鹿鳴館を手掛けたジョサイア・コンドル氏設計の木造2階建て洋館と、それに連なる和館で構成。和洋の建築美が調和した貴重な遺産として和館・洋館が国の重要文化財に、池泉回遊式庭園が名勝に指定されています。



知っ得情報

映像作品の舞台になった館内には、当時のタイルや暖炉が残ります。庭園に並ぶ19基の灯籠も必見。新羅型灯籠という珍しいものもあります。



03 諸戸氏庭園



**春秋のみ開かれる
山林王が愛した
名勝庭園**

江戸時代の豪商山田彦左衛門が造った庭園を、初代諸戸清六が買い取り増築・整備した江戸時代と明治期の庭園からなる名園。池泉回遊式庭園の美しい景観が広がります。国指定の名勝・重要文化財で、当時の繁栄と美意識を今に伝えています。春と秋に一般公開され、紅葉の名所としても知られています。

知っ得情報

主屋の近くにある「推敲亭」という草庵は、まるで絵画のような庭の美観を眺めることができるフォトスポットです。

02 七里の渡跡



**東海道唯一の海路
伊勢国へ続く
歴史の門口**

東海道五十三次で唯一の海路であり、名古屋の宮宿と桑名宿を結んだ渡し場跡。名称は海上の距離が七里(約28km)あったことに由来しています。伊勢国の東の玄関口として大鳥居がそびえ立ち、旅人が集まる「水郷・桑名」の象徴としてにぎわいました。

知っ得情報

美しい朝日が眺められる絶景スポット。鳥居は、伊勢神宮の式年遷宮のたびに建て替えられています。

桑名の魅力を深掘りする
「歴史案内人」を
紹介します

史跡をガイドする案内人を紹介。
地域の魅力を伝えるための工夫や
桑名の見どころなどをお聞きました。



**経験の引き出しで伝える
桑名の歩みと歴史の楽しさ**

歴史が好きで入会し4年、経験を積んで知識の引き出しが増えました。桑名は「壬申の乱」「慶長の町割り」など、時代のさまざまなターニングポイントの舞台となった街。そんな街の魅力を伝え、歴史を学ぶ楽しさを発信します。

**歴史が人と人をつなぐ
元教師が伝える桑名の宝**

教師として勤務している頃、子どもをひきつけるガイドに感銘を受け入会。桑名は「七里の渡跡」や式年遷宮の行事など歴史の宝庫です。案内を通じてお客様同士がルーツを語り合うなど、歴史が人をつなぐ瞬間に喜びを感じています。



かずひこ
齊藤 和彦さん

史跡はもちろん、地域の伝統的な行事や祭りも伝えていきたいです

史跡の季節の魅力もお伝えして、リピーターになってもらえるよう心がけています



きくこ
小川 紀久子さん

**四季の魅力と感動を伝え
また訪れたくなる案内を**

知識伝達にとどまらず、驚きや発見を引き出すナビゲーターが理想です。自作資料や四季の写真で視覚的にも分かりやすく伝え「また来るね」と指名いただくのが一番の喜び。再訪につながるガイドを日々追求しています。

歴史を知ることは現代を知ること。桑名の成り立ちを知る楽しさを伝えます



てるよし
有竹 輝好さん

徒歩での街巡りも楽しい桑名。おすすめをご案内しますのでお気軽にご参加ください



**「知る」楽しさを引き出す
多彩な切り口で街をガイド**

地名への興味から入会し、今では江戸時代の文献を読み解くほど歴史が趣味に。お客様が、昔の情景を想像できるような案内を大切にしています。史跡はもちろん桑名の和菓子文化など、多彩な切り口で魅力を発信していきます。



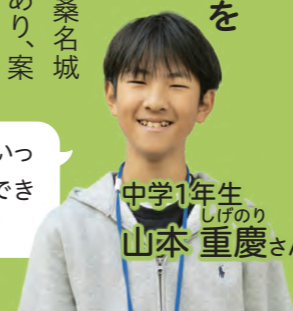
きよか
戸田 清香さん

NEWS!! 今年、中学生案内人が誕生します！

**現地でしか
得られない感動を
楽しく伝える
案内人に**

本多忠勝が築いた桑名城など歴史に興味があり、案内人のガイドを受けて入会を決意。歴史スポットには、ネットでは分からない心を動かすワクワク感があります。そういった魅力を伝えられる案内人をめざします！

桑名には知られざる名所がいっぱい。分かりやすくガイドできる案内人になりたいです。



中学1年生
しげのり
山本 重慶さん